

平成23年度 ケアグレードアップセミナープログラム

テーマ『現場の「介護力」を高めるリーダーのための「介護のポイント〔理論と技術〕と自己操縦法〔セルフマネジメント〕を学ぼう』

①とき：平成23年11月14日（月）～16日（水） ところ：札幌市 定山溪万世閣ホテルミリオネ
 ②とき：平成23年11月29日（火）～12月1日（木） ところ：音更町 十勝川温泉第一ホテル

【11/14（月）・11/29（火）】【リーダー自身が学び、伝える「介護力」】		方法	学びのポイントとキーワード	講師	備考
時間	学びのテーマ				
12:00 ~ 13:00 13:00 ~ 13:15	受付 ・開講式 ・主催者（塾長）挨拶 ・オリエンテーション				
13:15 ~ 14:15	生活動作介護の考え方	講義	リハビリテーションは機能訓練のことではない、介護者の関わり次第で対象者の生活能力が引き出されることを学ぶ。介護力の基礎は「知識」と「技術」と「実践」の融合が大切であり、エビデンスに基づいた「介護力」の必要性とその力を身につける。	学校法人 稲積学園 北都保健福祉専門学校 作業療法学科 学科長 大堀具視 氏	
14:20 ~ 16:20	生活をする（している）とはどういうことか？	講義・演習	生活を構成している活動、活動をつなぐ移動の重要性を認識する、また活動の遂行には役割の存在や行動の選択、意志や習慣について配慮する必要があることを学ぶ。		
16:30 ~ 18:00	身体・動きの仕組みについて知る	講義・演習	基本的な解剖学、生理学を復習し、身体・動きの仕組みを踏まえた介入の効果を実体験を通して学ぶ		
18:00 ~	夕食（バイキング形式）				

【11/15（火）・11/30（水）】【リーダー自身が学び、伝える「介護力」】		方法	学びのポイントとキーワード	講師	備考
時間	学びのテーマ				
9:00 ~ 12:00	基本動作に対する効果的介入方法を学ぶ	講義・演習	対象者の能力を引き出す介護実践について実体験をとおして学ぶ。安楽な姿勢とは何か、その姿勢をどのように介護するのか、そして褥瘡を予防する姿勢と体位交換についての考え方とその実践について等を学ぶ 対象者の能力を引き出す介護実践について実体験をとおして学ぶ。座る姿勢が不安定な利用者への介助をどうするか、食事をむせやすい利用者の座る姿勢と適切な介護について、持ち上げないトランスファーの実践が対象者の生活にとっていかに大切か、「立つ」から「歩く」へ結びつく介護のポイントとは何か、歩くのが不安定な利用者への適切な介助のポイントについて、筋トレや体操に頼らない転倒予防の方法について学ぶ	学校法人 稲積学園 北都保健福祉専門学校 作業療法学科 学科長 大堀具視 氏	
12:10 ~ 13:10	昼食				
13:10 ~ 15:10	ADLへの効果的な介入方法を学ぶ	講義・演習	排泄・更衣・食事・入浴・整容など効果的な介入のポイントについて実体験をとおして学ぶ。		
15:20 ~ 16:50	施設内における基礎介護力向上の実践事例 事例を基にみんなで考えてみよう	実践報告・演習	体験を通して分かった事、成功した事などを報告（15分程度の報告） ①声別慈恵園 もみじの科主任 石川ひとみ 氏（第1回） ②上士幌すずらん荘 指導課課長 賀陽 龍司 氏（第2回）		
17:00 ~ 18:00	まとめ・振り返り どのように伝達できるか？ どのように実践できるか？		今回の研修を施設にどう持ち帰り、リーダーとしてどう活かしていくのか？その手段を含めてディスカッションし発表する。		
18:30 ~ 20:30	ネットワーキング（懇親会）				

【11/16（水）・12/1（木）】【ケアの安定・向上をはかるための仕組みづくり・自分づくり】		方法	学びのポイントとキーワード	講師	備考
時間	学びのテーマ				
9:00 ~ 10:50	現場のケアと運営を安定させるための仕組みと活用方法	講義	・これまでのケアチェックシートと総合記録シートのちがいがい ・記録をケアの生かすための方法・仕組み ・記録ダブルチェックと週間ケア会議とリーダーの役割	NPO法人全国高齢者 ケア研究会 研究委員長 泉田 照雄氏	
11:00 ~ 12:00	リーダーに求められる自己管理（感情・思考）の意義と方法 チーム力向上に必要なリーダーの能力・脳力	講義	・なぜセルフマネジメント〔自己操縦〕が必要か ・心と脳の健康管理 ・脳（心）のコントロールの重要性 ・メンタルチェック ・脳（心）のコントロールのポイント ・自責の念が成長を加速させる		
12:00 ~ 12:30	閉講式				